



## LNG燃料船向けBOG処理装置 (Boil Off Gas Combustion Unit)

### 「MECS-GCU」を発売



ボルカノ株式会社はLNG燃料船向けBOG処理装置 (Boil Off Gas Combustion Unit) 「MECS-GCU」を開発し、2016年3月31日より発売開始しました。

「MECS」とは、Marine Evolutional Combustion System (革新的な船用燃焼システムの意) の略で、BOG処理装置 (Boil Off Gas Combustion Unit)を意味する「GCU」を組合せ、名称を「MECS-GCU」としました。

ボルカノ株式会社は、船用オイル／ガスコンビネーションバーナ、陸用ガスバーナ、陸用超低NOXバーナなどで培った業界トップレベルの技術を生かして、LNG燃料に対応した製品提供や課題解決策提供に取り組んできており、「MECS-GCU」は、今後大きく期待されているLNG燃料船において必要とされる250kW～2,400kWのBOG処理を実現した製品です。

なお、この「MECS-GCU」シリーズのうち、MECS-G250は、  
日本初のLNG燃料船「魁」(さきがけ)※1に採用されました

※1 LNG燃料タグボート「魁」(さきがけ)：日本郵船株式会社殿が建造をすすめられ、  
2015年8月31日に京浜ドック株式会社殿にて竣工した日本初のLNG燃料船

参考：「LNG燃料船向けBOG処理装置」について

LNG(液化天然ガス)燃料船において、燃料タンク内で気化したガス(ボイルオフガス Boil Off Gas)やバンカリング時に発生する気化ガスを安全に燃焼し、処理する装置です

LNG燃料船では、ボイルオフガス(BOG)を燃料として使用しきれない場合、燃焼させたり、再液化したり、といった方法で、ボイルオフガスを処理する必要があります

問合せ先：燃焼機事業部 営業部 (TEL06-6392-5541)

[Info-m@volcano.co.jp](mailto:Info-m@volcano.co.jp)

担当 佐々木、名定(なさだ)

ボルカノ株式会社 〒532-0034 大阪府大阪市淀川区野中北 1-3-38



## Press Information

また、LNG 燃料船のドック時には、タンク内の可燃性ガスを燃焼させ、イナートガスに置換する必要があり、この際にもボイルオフガスを処理する必要があります

### 商品主要仕様

#### 特徴：

ちょうどいいサイズ、を実現

処理能力 250kW~2,400kW、処理燃焼量 18~173kg/h (CH<sub>4</sub>:100%) の小容量に対応でき、ちょうどいいサイズとなっています

さまざまな BOG に対応

パイロットバーナ連続運転により、さまざまな構成比 (CH<sub>4</sub>、N<sub>2</sub>) の BOG、及び零℃以下の BOG も安全に連続燃焼可能です

メタルコンバスターを採用

処理炉には、金属製燃焼室=メタルコンバスターを採用し、軽量化を図るとともに、耐火材脱落の不安を解消しました

#### シリーズ構成：

TYPE	MECS-G250	MECS-G350	MECS-G600	MECS-G850	MECS-G1200	MECS-G1600	MECS-G2400
処理能力 (kW)	250	350	600	850	1,200	1,600	2,400
処理燃焼量 (kg/h) ※1	18	25	43	61	86	115	173
ガス圧力 (MPa) ※2	0.7						
排ガス高トリップ温度 (°C)	500						
計画排ガス温度 (°C)	450						

※1. CH<sub>4</sub>低位発熱量:50,030kJ/kgベース

※2. BOG流量コントロール弁一次圧力

以上

問合せ先：燃焼機事業部 営業部 (TEL06-6392-5541)

[Info-m@volcano.co.jp](mailto:Info-m@volcano.co.jp) 担当 佐々木、名定 (なさだ)

ボルカノ株式会社 〒532-0034 大阪府大阪市淀川区野中北 1-3-38